(平成十九年度寮歌

金がない 入ってみたの すみかは V ボ 0) が 口 口屋に得体の知れぬのは良いけれど 最は 初 の縁ん で

思えば遠くへ来たもんだ 上の年目が か一絡げ ヤレ

気付けば朝寝に高いない 、志抱きて北都 来たが いびき

朱に交われば朱くなる サア 自分は違うと言ってはみたが 明日から頑張るぞヤレ

> 突然ド 酒を飲み飲み話す 奴より俺の方が上ヤレック まれ ほう うえ から まれ ほう うえ け時には日和り 時には突き上げ時には日和り ンパと突っ張り合い もすれば

同じ団栗せいくらべ

つ

7

い

ても

苦楽を伴に住れた。 は早い ん ではいたが ŧ  $\bar{O}$ 

避さ け は 異なもの ては通 Ō ħ 味む ぬ なも 別な れず 0) ヤレ

> 井 城 閺 雄太君 俊 介 君 作 作 曲 歌